

令和4年度 久留米市教育センター調査研究

今求められる 情報モラル教育

子供たちにどんな力を
身に付けさせたらいいの？

情報モラル教育の授業って
どうすればいいの？

実践事例を基に、お応えしますね。

活用にあたって

学校教育のICT化により、学校でも情報を利用することが増えるとともに、社会的にもICT化が進む中で携帯電話・スマートフォンやSNSが子供たちにも急速に普及し、児童生徒がインターネット上の差別的な表現や差別を助長する誤った情報に触れる機会が増加しています。このことに伴うトラブルや犯罪被害も生じているという状況のもと、情報モラルを身に付けさせることや様々な情報の真偽を主体的に判断し、適切に行動するための基本となる知的理解と人権感覚を培うことが一層重要となっています。



そこで、調査研究班では、道徳科、人権教育、情報モラル教育のそれぞれで育成すべき資質・能力の関連を図りながら、子供たちのよりよく生きる力を促すために、テーマを「今、求められる情報モラル教育」と設定し、研究を進めてきました。



このリーフレットで伝えきれない部分は、動画のQRコードを載せていますので、適宜ご活用いただければと思います。

各学校における情報モラル教育の推進に、先生方の授業づくりに参考にしていただければ幸いです。

QRコードによる『Google サイト』一覧		
第1部	研究の方向性	P 5
第2部	実践事例①	P 7
	実践事例②	P 7
	実践事例③	P 6
第3部	研究の成果と今後の方向性	P 8





情報モラル教育において、
子供たちにどのような力を
身に付けさせたらいいの？

情報化が進み、科学技術も発展
する中で、受信側、送信側それ
ぞれで、考え、確かめ、想像す
る力が必要になります。



正しい
情報なの？

誰かを
傷つけない
かな？

みんなに
教えるべき
かな？

アップロード
しても
大丈夫かな？

受信側
(受け手)

発信側
(送る側)



研究の目標

情報モラルを身に付けさせることや様々な情報の真偽を主体的に判断し、適切に行動するための基本となる知的理解と人権感覚を培うこと



道徳科、人権教育、情報モラル教育を関連させることで、それぞれの育成すべき資質・能力を育みます。

道徳科、人権教育、情報モラル教育を
関連させることで、資質・能力が
ネットワークのようにつながります。

友情、信頼

適切な自己表現等を
可能とするコミュニ
ケーション能力

礼儀

他者の痛みや感情を
共感的に受容できる
ための想像力や感受性

遵法精神・
公德心

今求められる情報モラル教育

責任をもって適切に
情報を扱おうとする態度

受け手の状況を
踏まえて発信する力

正しい情報なのかを
判断する批判的思考力



詳しくは
Google サイトへ
※久留米市教職員限定

5



情報モラル教育の授業は、
どうすればいいの？

「心を磨く」部分に焦点を当てた、
道徳科の実践を紹介します。
問題解決的な授業展開をベースに意
図的に人権教育や情報モラル教育と
関連させていくことが大切です。



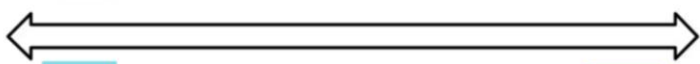
具体的には、場の設定、教材提示の工夫、思考を促す発問、
役割演技などの体験活動を位置付ける中で、メールやSNS
等の使い方について触れたり、受け手や送る側の気持ちを尋
ねたりすることで、情報モラルの視点や人権教育の視点で物
事を考えるように促し、関連を図っていきます。

場の設定の工夫

互いの関係を深めるために、メッセージアプリは必要か、不要か。

必要である

不要である



Bさん

Dさん

Aさん

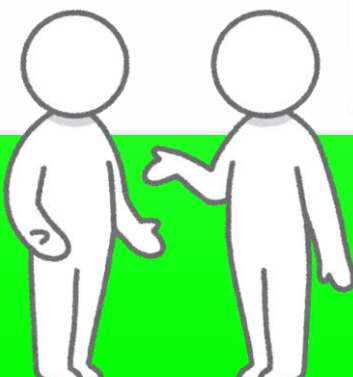
Cさん

自分が考える立場に、
自分の名前を書いた付
箋を貼りましょう。同
じ位置になる場合は、
付箋を重ねず、下に
並べましょう。

○班

ICTを活用し、
立場を決めさせ、
議論する場を設定する。

詳しくは
Google サイトへ
※久留米市教職員限定



子供の思考を促す発問

人権教育や、情報モラル教育の視点を意識し、関連を図るように、意図的な問い返しの発問を行う。

千里は、送る前に、伝え方を確認すべきだった。

受け手の情報を踏まえて発信する力

美咲も何かできることはなかったのかな？

美咲も、「どうしてそんなこと言うの」と確認すればよかった。

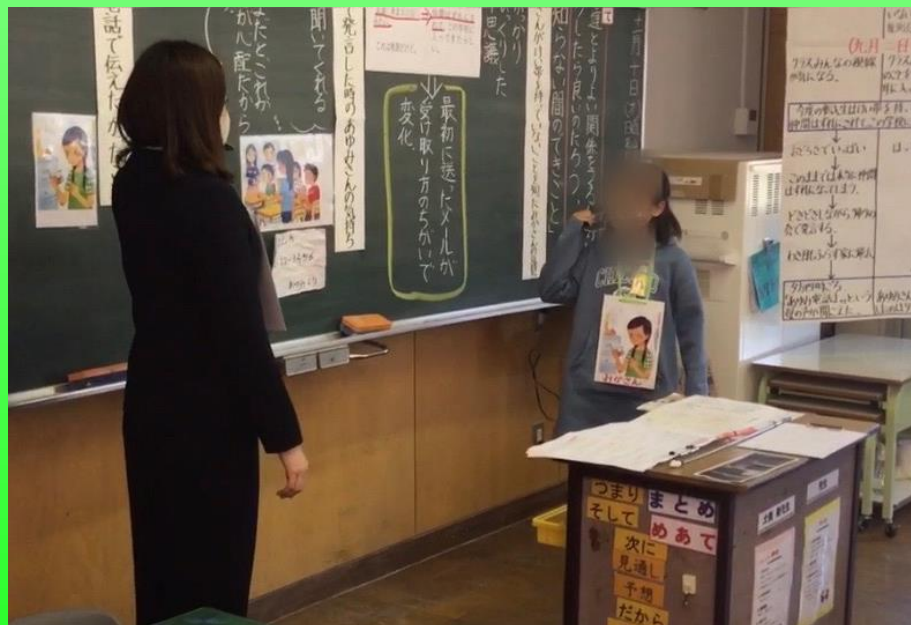


正しい情報なのかを判断する批判的思考力

詳しくは
Google サイトへ
※久留米市教職員限定



役割演技などの体験活動の位置付け



受信側及び送信側それぞれでの立場で考え、確かめ、想像させるために役割演技や動作化などの体験活動を位置付ける。



詳しくは
Google サイトへ
※久留米市教職員限定



問題解決的な授業展開をベースに、場の設定、教材提示の工夫、思考を促す発問、役割演技などの体験活動を意図的に位置付けると、道徳科、人権教育、情報モラル教育が関連しそれぞれの育成すべき資質・能力が養われたり、発揮されることにつながります。



◀ 詳しくは
Google サイトへ
※久留米市教職員限定

人権・同和教育研究班

八尋	正晃	(西国分小学校)	赤司	光徳	(教育センター)
中野	紘嗣	(長門石小学校)	長野	浩史	(学校教育課)
今田	陽子	(金丸小学校)	池口	嘉一	(学校教育課)
土橋	舞	(高良内小学校)	後藤	和歌子	(学校教育課)
田中	遼	(田主丸小学校)	大津	里恵	(学校教育課兼教育ICT推進課)
江島	裕美	(諏訪中学校)	堤	佑太	(教育ICT推進課)
益永	康宏	(荒木中学校)			
大崎	幸一	(北野中学校)			